

1人1台タブレット 何が求められるのか？ **受け身の姿勢から自分で狩りをする感覚へ**

オンとオフの時間の切り替えの大切さ 「無意味な時間」「無意味な空間」を減らす

タブレットに限った話ではありませんが、自分の持ち物は「大切」にしましょう。先日もロッカーの上に誰かのタブレットが置きっぱなしになっている事例がありました。

タブレットはどれくらいの値段だか知っていますよね。キーボードやペンシルを含めると6万円弱です。このお金を得るのがどれだけ大変か少し考えてみましょう。高校生が1時間アルバイトで得ることができるお金が900円だと仮定します。そうすると、66時間アルバイトをしないと得ることができない計算になります。これは皆さんの10日分の授業時間、あるいは平日の帰宅後の自由時間20日分に該当する時間になります。保護者の方がどれだけ負担をして購入したか皆さんも考えてみてください。**タブレットを買ったからには「絶対にもとをとる」**くらいの気持ちを持って学習に臨んでください。



ロッカーの上に置かれた
タブレット…

現金6万円が置いてある
のと同じです…



とても高価なものなので、その辺に置きっぱなしにすることのないように。**使用しない時は原則ロッカーの中に入れて鍵をかけるようにしましょう。**

授業や日常生活の場面での使い方を考えたい

スマホもタブレットも人々の生活を豊かにするコンテンツが溢れています。1日中見ても飽きないくらいの娯楽、映画、読書、運動、学習、様々なことがタブレットではできます。皆さんに考えてもらいたいのは、**使っている瞬間の自分を俯瞰できるかどうか**です。心理学ではメタ認知といいます。 「今この瞬間、私は学習のためにタブレットを使っている」と明確に意識できるかどうかです。この意識が曖昧になり、「何となく、目的なく」タブレットやスマートフォンをいじっているとあっという間に時間が過ぎ去って行ってしまいます。こういう目的のない時間の過ごし方が一番もったいないです。タブレットで「遊ぶ」際も、自分の中で明確に「今は遊ぶ時間だ」と意識できていればいいです。それがズルズル、ダラダラ続くようでは困りますが。授業中に使用する際も常にこのことを意識しましょう。「**今この瞬間使っている目的は何か？**」知識を習得することが目的なのか、復習することが目的なのか、知識を整理してまとめることが目的なのか、他者に分かりやすく伝えることが目的なのか、そんなことを考えるとタブレットに限らず、時間の使い方もうまくなります。授業以外の場面でも上手に活用していきましょう。

今は何のために使っているか
自問自答しよう

